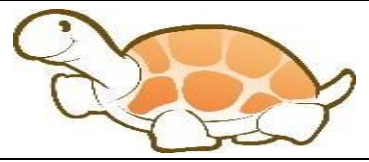




# のこのこたより



平成31年4月 第48号

社会福祉法人晃宝会

特別養護老人ホームあじさい園 宝

住所：奈良市南肘塚町99番1

電話：0742-24-0878 fax：0742-23-0373

## 平成31年度 事業計画

下記の表が示す通り、「少子高齢化・人口減少」がますます加速する中で、社会福祉法人晃宝会は、それぞれの地域で運営する事業所において、「地域の拠点・安心拠点」としての役目を果たしていくことを目標とします。老若男女を問わず、地域住民の皆様の意見や思いにしっかりと耳を傾け、共感し理解しあえることが大切であり、より多くの皆様とのつながりを大切に、地域包括ケアの担い手として努めてまいります。2019年度の目標は『力を合わせて笑顔をつやそう』とさせていただきます。

人口推移表 (単位：千人)

「ご利用者が365日24時間、穏やかに安全な生活を維持することは、私たちが責任を持って臨機応変に対応することの連続といっても過言ではありません。そのような中で、私たちが最も目指すべきことは「個人の尊厳を尊重する」、それは人として人を大切にすることです。その方が人生で大切にしたいことを一緒に守ろうとする気持ちを持ち続けることに意義があります。私たちは人生の大先輩の自立支援を行うという大きな課題に日々チャレンジしています。そのことを忘れず、常に謙虚に学び姿勢を保ち続けます。

災害時対応につきましても、今期「太陽光発電と動力発電の併用」を計画し、ハード・ソフト両面からしっかりとサポートできる体制の構築に努めます。緊急時対応についても、引き続き全職員で取り組みます。

口腔ケアについては、歯科医師の指示のもと、歯科衛生士による全事業所のご利用者の口腔ケア、口腔体操等の実施により、口腔内の健康保持に努め、おいしい食事をよく噛んで召し上がっていただくこと、肺炎予防、インフルエンザ予防、ノロウイルス感染予防により一層力を入れてまいります。

	昭和60年(1985)	平成20年(2008)	平成28年(2016)
総人口	121,049	128,084	126,933
15才まで	26,042	17,176	15,780
15才~64才	82,535	82,300	76,562
65才以上	12,472	28,216	34,591

笑顔は笑顔をさそいます。「ご利用者さまの人生は出会った私達職員により大きく左右されることを忘れてはなりません。」「職員のみならず、力を合わせてニッコリ笑顔でまいりますよ。」

### 極楽坊保育園児1歳児・2歳児さんとの交流会

「トントンアンパンマン」「犬のおまわりさん」などの手遊びを

一緒に楽しまれ、園児さんと「いっぱい」ふれあうことができました。



握手をしたりじゃんけんをしたりと笑顔がいっぱいあふれました!



### 4月行事予定

- 3日:晃宝会 24周年祝 オカリナ演奏会 14:00
- 12日:音楽療法 10:30
- 16日:日本民謡の出前 14:00  
太郎と花子様
- 17日:宝4周年祝演奏会 10:30  
マロン・フレンス様
- 18日:体操教室 10:30
- 22日:のこのこ喫茶 13:30
- 23日:防災・防火訓練 10:30
- 24日:春のコンサート 10:30  
コール・シオン様
- 書道教室 14:00
- 25日:お誕生日会 15:00
- 26日:音楽療法 14:00

園児さんによる劇では「人参、大根、ごぼう」になって楽しませてくださいました。



いつもご協力、ご支援ありがとうございます。春のコンサート、日本民謡の出前等を開催いたしますので地域の皆様、ご家族どなたさまもお気軽に参加いただきますようお願いいたします。ホームページ・ブログも含めて御覧ください。

のこのこ喫茶開店！春色に心弾む季節の中ご利用者様は、午後のひとときのティータイムを楽しめました。

# 第24回 口腔癌

口腔癌は、顎口腔領域に発生する悪性腫瘍の総称です。我が国においては、高齢化社会の到来とともに、癌罹患数は増加しており、口腔癌においても同様です。1975年の口腔癌罹患数は2100人、2005年には6900人でありましたが、2015年には7800人になると予測されました。これは、全癌の約1%、全頭頸部癌の約40%を占めます。口腔癌は、さらにそのできる部位によって口唇(こうしん)癌、舌癌、口底(こうてい)癌、歯肉(しにく)癌(上顎歯肉癌、下顎歯肉癌)、頬粘膜(きょうねんまく)癌、硬口蓋(こうこうがい)癌などに分けられます。これらのうち、舌癌の発生頻度がもっとも高く、口腔癌の約40%を占めます。そのほかには唾液腺(だえきせん)から発生する腺系癌(せんけいがん)などもみられます。

## 【原因】

喫煙と飲酒は口腔癌の発症リスクを高めます。う蝕(むし歯)や合っていない義歯などによる慢性刺激も原因として疑われています。また、前癌病変(正常粘膜と比べてがんになる可能性が高い病変)である白板症(はくはんしょう)から生じたと思われるものもみられます。

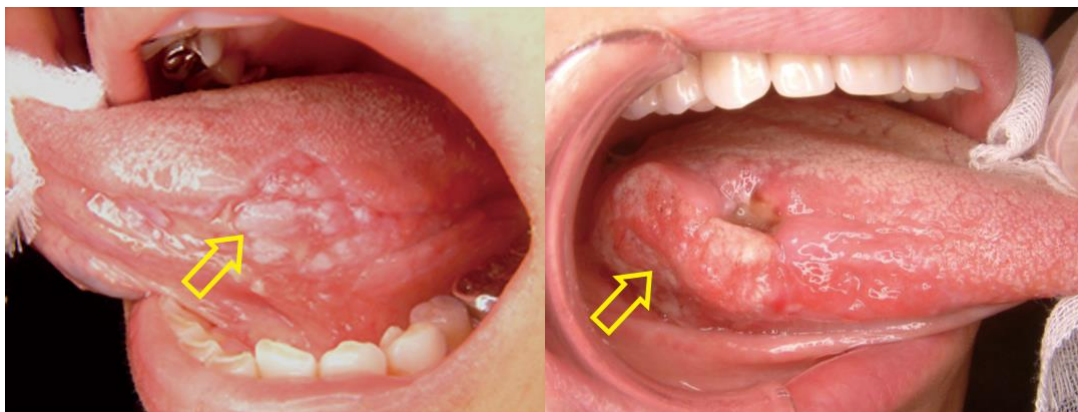
## 【症状】

50歳以上の男性に好発し、発生する部位や病期(癌の進行度)により、症状はさまざまです。癌の表面の特徴から白斑(はくはん)型(白く隆起しています)、肉芽(にくげ)型(ぶつぶつしています)、腫瘤(しゅりゅう)型(こぶのように盛り上がっています)、びらん型(粘膜が剥がれたように見えます)、潰瘍(かいよう)型(深くえぐれています)、などに分けられています。いずれもみだ目に汚く、しこり(硬結 こうけつ)があり、ときに出血や痛みを伴います。

病期が進むにつれて咀嚼(そしゃく)や嚥下(えんげ)、さらに発音が障害されるほか、口が開けづらくなったり(開口障害)します。また、リンパ流に沿って頸部のリンパ節に転移し、リンパ節が腫れたりします。さらに進行すると、肺、骨、肝臓など他の臓器に転移し、全身的な症状をおこすようになります。

舌がん(白斑型)

舌がん(潰瘍型)



口腔がんのできやすい場所は舌・歯ぐき・頬の粘膜ですが、中高年齢の方は、毎月1回のセルフチェックを強くお勧めします。特に、喫煙や飲酒等の習慣がある方は、怪しいと思ったら直ぐに、かかりつけ歯科医や総合病院の歯科口腔外科を受診して下さい。